

# 藤花



迎春

本年も何卒よろしくお願い申し上げます

社会福祉法人 光養会 役職員一同



▲令和4年12月6日藤樹神社に絵馬奉納

## 目次

表紙	1
理事長のあいさつ	2
ふれまち地域交流事業	3
インフォメーション	4



社会福祉法人 光養会



◇発行元◇

社会福祉法人 光養会

特別養護老人ホームふじの里  
(特養) ふじの里なごみの家  
(特養) ふじの里ショートステイ  
ふじの里デイサービスセンター  
ふじの里ケアプランセンター  
〒520-1223  
滋賀県高島市安曇川町下小川3220-1  
TEL: 0740-32-4165  
FAX: 0740-32-3236  
URL: www.kouyukai-fujinosato.jp  
E-mail: info@kouyukai-fujinosato.jp

# 新年を迎えるにあたって

社会福祉法人光養会 理事長 橋本 辰美

新春を迎え、皆様方には益々ご清祥のことと、役員・職員一同心からお慶びを申し上げます。また、本法人施設ならびに事業所に対しまして日ごろから多大なご支援をいただいておりますことに、心からお礼を申し上げます。

さて、昨年は本法人の設立から30年となる記念すべき年となりましたが、さらに本年は特別養護老人ホームふじの里が開設30周年を迎えます。このため、これを記念して、高島市高齢者福祉計画第八期介護保険計画に基づき「(仮称)特別養護老人ホーム藤のれん」の新設整備を進めており、本年4月以降の開設を目指しております。

施設は、ユニット型40床とし、居宅介護が困難となった高齢者の皆様が安心して生活できるよう、医療機関や在宅介護支援活動との連携のもとに、看取りケアの機能を一層強化した施設とし運営する予定です。また、

当施設を介護活動の実践の場として活用し、福祉活動の体験や学習



▲藤のれん完成予想図

介護の実習や研修、介護普及といった学習・教育支援事業をあわせて実施することとしております。既に、施設の建設と並行して、こうした運営方針をご理解いただき、職務に専念いただける職員の皆さんの採用を進めているところで。

ところで、本法人では、昨年、中期事業計画を策定し、地域の社会状況等が日々変化する中で、様々な課題に速やかに対応し、法人としての「次なる時代への基盤づくり」を進めることといたしました。具体的には、高齢者介護保険施設・事業所としての基本理念に基づき、利用される皆様の視点からサービスの向上を目指すとともに、いまいちど社会福祉法人の理念に立ち返って、地域社会の諸課題と向き合い、様々な具体的活動を展開することとしております。

法人設立や施設開設から30周年を迎えたことを機に、今後一層地域の関係機関や施設・事業所の皆様との連携を進めまるとともに、職員の皆様がいかに働く喜びを感じていただけるよう、法人事業の運営に努めていきたいと考えております。皆様方には、本年も一層のご指導ご鞭撻を賜りますよう、心からお願ひ申し上げます。

## 「ホワイト企業」ゴールド認定を受けました

一般財団法人 日本次世代企業普及機構が実施するホワイト企業(次世代企業)審査の結果、光養会は「ゴールド認定を受けました。」  
認定期間 2022年10月1日～2023年9月30日まで

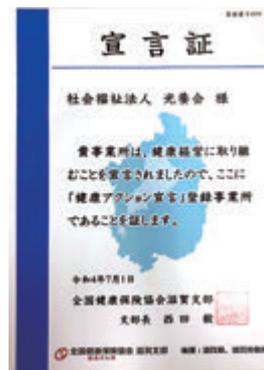


## 「健康アクション宣言」をしました

健康経営に取り込む事業所として、光養会は「健康アクション宣言」登録事業所となっております。「健康経営」とは従業員の健康を重要な経営要件として捉え、事業主が従業員の健康づくりを積極的にサポートし、従業員が健康で元気に働く職場を作るスタイルです。(※健康経営とはNPO法人健康経営研究会の登録商標です)

健康アクション宣言登録事業所に

なると、健康づくりの取り組みを協会けんぽ滋賀支部から様々なサポートを受けることができます。



## 「滋賀県家庭教育協力企業協定(しがふあみ)」を締結しました

光養会は滋賀県教育委員会と「滋賀県家庭教育協力企業協定」を締結し、家庭教育の向上に向けた職場づくりをはじめ、社会全体で子どもたちを支えるために、経営者・従業員をあげて子どもの健やかな育ちのための取組を推進しています。



誠に恐縮ではありますが、2019年より年賀状での年始の挨拶を控えさせていただきます。何卒ご了承くださいますようお願い申し上げます。

# ふれまち地域交流事業を開催

## 地域交流の深化へ

特別養護老人ホームふじの里  
施設長 澤 和記

本会は設立30周年を迎え、介護や福祉、防災について考える機会として11月5日特別養護老人ホームふじの里で「ふれまち地域交流事業」を開催いたしました。

介護保険制度発足から20年余り、制度の形骸化が進み、また近年のコロナ禍の交流の機会が希薄化する中で地域住民の皆様と顔の見える関係を深めることを目的に「施設から地域の防災」、「コミュニティスペース」、「未来づくり」の3テーマで、施設内の防災設備を紹介し、非常用ガス発電設備を活用して作ったかやくご飯を提供、また介護食の試食や悩活トレーニング、介護体験など19のコーナーを設けました。

当日は、30名を超える多数の方にご来場いただき、地域の皆様と入居者様、家族様、職員の交流を深めることができました。これからの私たちが目指すまちづくり「ふれあいのまち、みんなの笑顔」（設立30周年記念誌表紙）の第一歩としてまちの施設に老若男女沢山の笑顔を見ることができたことを大変うれしく感じました。事業開催にあたり、ブース出展や運営ボランティアとしてご支援ご協力いただきました関係の皆様本当にありがとうございました。

今後とも高齢者福祉事業はもとより、多様な世代が社会参加できる居場所づくりやまちづくり、地域福祉の向上に職員一同努めてまいりますのでご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。



▲設立30周年記念表紙



高島市消防署より起震車と煙体験ハウスが来ました！

## 施設から地域の防災



健康チェックブース



カラオケ大会♪



災害時ワーキングブース



防災型自家発電設備のLPガスを利用した炊き出し



屋台は美味しいもの楽しいものがいっぱい☆



## コミュニティスペース

## ふれあいのまち みんなの笑顔



滋賀県議会議員の清水鉄次様に来ていただきました



新施設の説明  
未来づくり



約20年ぶりの「ふれまち地域交流事業」の開催です



フードドライブ



疑似体験と車イス介助の体験コーナー



